



## 本間としえ (公明党)

2030年「食品ロス半減」を  
どう進めるか

- 問 食品ロス削減の為に以下の対策を提案するのいかがか。
  - ・冷蔵庫の中を10日と30日の月2回チェックする「冷蔵庫10・30運動」のマグネットを作成し配布する。
  - ・公民館等で「エコクッキング教室」を開催する。
  - ・陳列順に購入して頂くために「てまえどり」や「すぐたべくん」の表示設置の推奨と消費者への啓発をする。
  - ・多摩市「オリジナルの持ち帰り用パック」を作成し、多摩市食べきり協力店に配り、外食時に食べ残しを持ち帰る文化の定着と、食べきり協力店の拡大を推進する。
  - ・作りすぎた食品等を、廃棄したくない商店と、食品を安く購入したい市民を結びつける、食品ロス削減のためのマッチングアプリ「多摩タベスケ」を開始する。

答 食品ロス削減に取り組んで頂ける市民・民間事業者を増やすための啓発と支援を積極的に進めていく。

問 フードドライブのわかりやすい周知、協力事業者の拡大、フードパントリーの推進を要望するのいかがか。

答 社会福祉協議会と連携しながら取り組んでいく。



富山市の「おいしいとやま食べきり運動」で配布されたお持ち帰り用パック (出典：環境省「自治体職員向け食品ロス削減のための取組マニュアル」)



## 斎藤せいや (社士の会)

1.教育の充実・課題について  
2.各地域における教育課題について

問 主体的・対話的で深い学びを実現させるためには理数教育の充実が重要だと考えるが教育委員会の見解を伺う。

答 教員が理数教育に係わる教科のねらいや内容を指導できるよう研修等を行うとともに、指導主事の学校訪問における指導・助言を充実させる。

問 多摩第三小学校建替に伴う地域懇談会はどの範囲で呼びかけ、何回程度開催するかを伺う。

答 保護者、隣接する住民、学区内の保育園や幼稚園、学童クラブなどにお声がけしている。また、合計4回懇談会を実施して、基本構想をまとめていく。

問 基本計画・実施設計の期間の想定を伺う。

答 基本計画は令和5年度、6～7年度に基本・実施設計、8～9年度に工事を行う予定である。

問 学校プールについてはどのような方向性で考えているかを伺う。

答 南側に河川があり、かつ、校地が狭隘であることから除却する方向で検討していく。



## 大野まさき (フェアな市政)

1.地球温暖化対策としての過度な  
暖房使用の抑制について  
2.ファミリーシップ制度等について

問 市庁舎等の貼紙に市職員のウォームビズの取組みは記載されているが、市民ができる対策等も含めないのか。

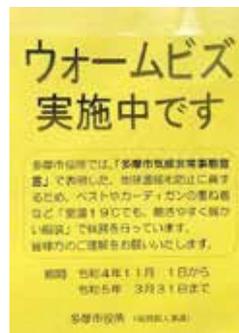
答 紙面スペースの都合からできていなかったが、今月中旬から市の取組みを改めて周知する際、検討したい。

問 市では、今年2月からパートナーシップ制度を導入したが、ファミリーシップ制度導入の考えはあるか。

答 子どもと利用者のプライバシーも守りながら、地域での理解促進と制度の浸透が大きな課題だ。まずは導入自治体の運用状況を把握し、都内の自治体連絡会や制度導入自治体の会議等も通じて、検討を深めたい。

問 「ともフェス」の学習講演会に参加して「性的自立」について、若い人も大人も地域で学ぶ必要性を感じた。性に関する市職員による不祥事が連続したことから、本市職員も性的自立について研修すべきではないか。

答 職員向けの研修を出来るだけ速やかに実施したい。今提案のあった内容については、TAMA女性センター、人事担当とも相談・準備したい。



## 岸田めぐみ (ネット・社民の会)

1.本人にも周囲にもわかりにくい  
精神障がい理解を上げよう  
2.障がいのある女性の困難さについて

問 差別や偏見があるため、当事者や家族は精神障がいについて話すことができない、という声が届いている。子どもの頃からの正しい理解が必要だ。対象が身体・聴覚・視覚障がいに留まる「障がい者と共にひとときの和」での精神障がいへの理解促進について伺う。

答 重要な点だと捉えており実行委員会の中で検討していく。小学生向けの「心つなぐ・はんどぶっく」を作成しており子どもの頃からの理解促進を図っていく。

問 障がいのある女性は、「女性であること」と「障がいがあること」で複合的な困難を持っている。こうした複合的な課題は従来の各部署の調査等からはみえてこない。障がいのある女性の就労と収入についての実態をどう捉えているのか。

答 多摩市障害者生活実態調査より一般就労率は女性18.8%、男性28.9%。収入200万円未満は女性61.5%、男性42%であり、相対的に障がいのある女性の働きづらさや収入の少ない状況があり支援の必要性を認識している。

問 複合的な困難について調査を行う必要があるのではないか。

答 審議会の助言等を仰ぎながら検討すべきものと思う。

